PRESS RELEASE
報道発表資料

日本の魅力を、日本のチカラに。
JNTO 日本政府観光局

※　本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2026 年 8 月 19 日

訪日外客数（2026 年 7 月推計値）

◇7 月：前年同月比 0.1%増の 344 万人

●7 月の訪日外客数は 3,442,100 人で、前年同月比 0.1%増となり、7 月として過去最高を記録した。また、韓国、インドネシア、メキシコなど 17 市場で 7 月として過去最高を記録し、そのうち台湾では単月過去最高を記録し、初めて 70 万人を超えた。

●東南アジアなど一部市場で訪日需要が落ち着く時期である一方、東アジアや欧米豪・中東を中心に多くの市場で夏季休暇に合わせた訪日需要の高まりが見られたこと等もあり、東アジアでは韓国、台湾、東南アジアではタイ、マレーシア、欧米豪では米国、フランスなどで訪日外客数が増加した。

●2026 年 3 月に策定された第 5 次観光立国推進基本計画では、リピーター数を含めた旅行者数・旅行消費額・地方部延べ宿泊者数など政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

＊月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。
https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/
「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別　訪日外客数（2003 年～2026 年）（PDF・Excel）」

＊訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

＊7 月として過去最高の 17 市場は韓国、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、インド、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】
企画総室　調査・マーケティング統括グループ
TEL：03-5369-6020　E-MAIL：data@jnto.go.jp

独立行政法人 国際観光振興機構
企画総室 広報グループ
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp/

2026年 訪日外客数・出国日本人数
2026 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization（JNTO）

（単位：人 / Unit: Persons）

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2025	2026	伸率 Change %	2025	2026	伸率 Change %
1 Jan.	3,781,629 (3,455,149)	3,597,881 (3,242,173)	-4.9 (-6.2)	912,298	1,072,602	17.6
2 Feb.	3,258,491 (2,965,065)	3,466,848 (3,215,752)	6.4 (8.5)	1,181,062	1,093,250	-7.4
3 Mar.	3,497,755 (3,149,434)	3,619,159 (3,221,476)	3.5 (2.3)	1,423,449	1,518,999	6.7
4 Apr.	3,909,128 (3,587,187)	3,692,364 (3,346,567)	-5.5 (-6.7)	961,386	1,042,087	8.4
5 May	3,693,587 (3,368,573)	3,560,256 (3,245,723)	-3.6 (-3.6)	1,076,756	1,127,482	4.7
6 Jun.	3,377,985 (3,110,559)	*3,148,600 ＊*	*-6.8 ＊*	1,054,045	1,090,183	3.4
7 Jul.	3,437,118 (3,161,501)	*3,442,100 ＊*	*0.1 ＊*	1,205,435	*1,191,300 ＊*	*-1.2 ＊*
8 Aug.	3,428,406 (3,072,139)			1,648,279		
9 Sep.	3,267,228 (2,893,816)			1,394,525		
10 Oct.	3,896,524 (3,579,441)			1,243,575		
11 Nov.	3,517,659 (3,224,274)			1,330,014		
12 Dec.	3,617,791 (3,395,228)			1,300,791		
1～7 Jan.-Jul.	24,955,693 (22,797,468)	*24,527,200 ＊*	*-1.7 ＊*	7,814,431	*8,135,900 ＊*	*4.1 ＊*
1～12 Jan.-Dec.	42,683,301 (38,962,366)			14,731,615		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。
◆注2：訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2025年の値は確定値である。
◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、
日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。
◆注4：( )内は、総数のうちの観光客数である。
◆注5：出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.
◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2025) and provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists.
Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan.
Crew members are excluded.
◆Note 4. The figures in ( ) represent the number of tourists among the total.
◆Note 5. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

2026年7月　訪日外客数（JNTO推計値）（対2025年比）

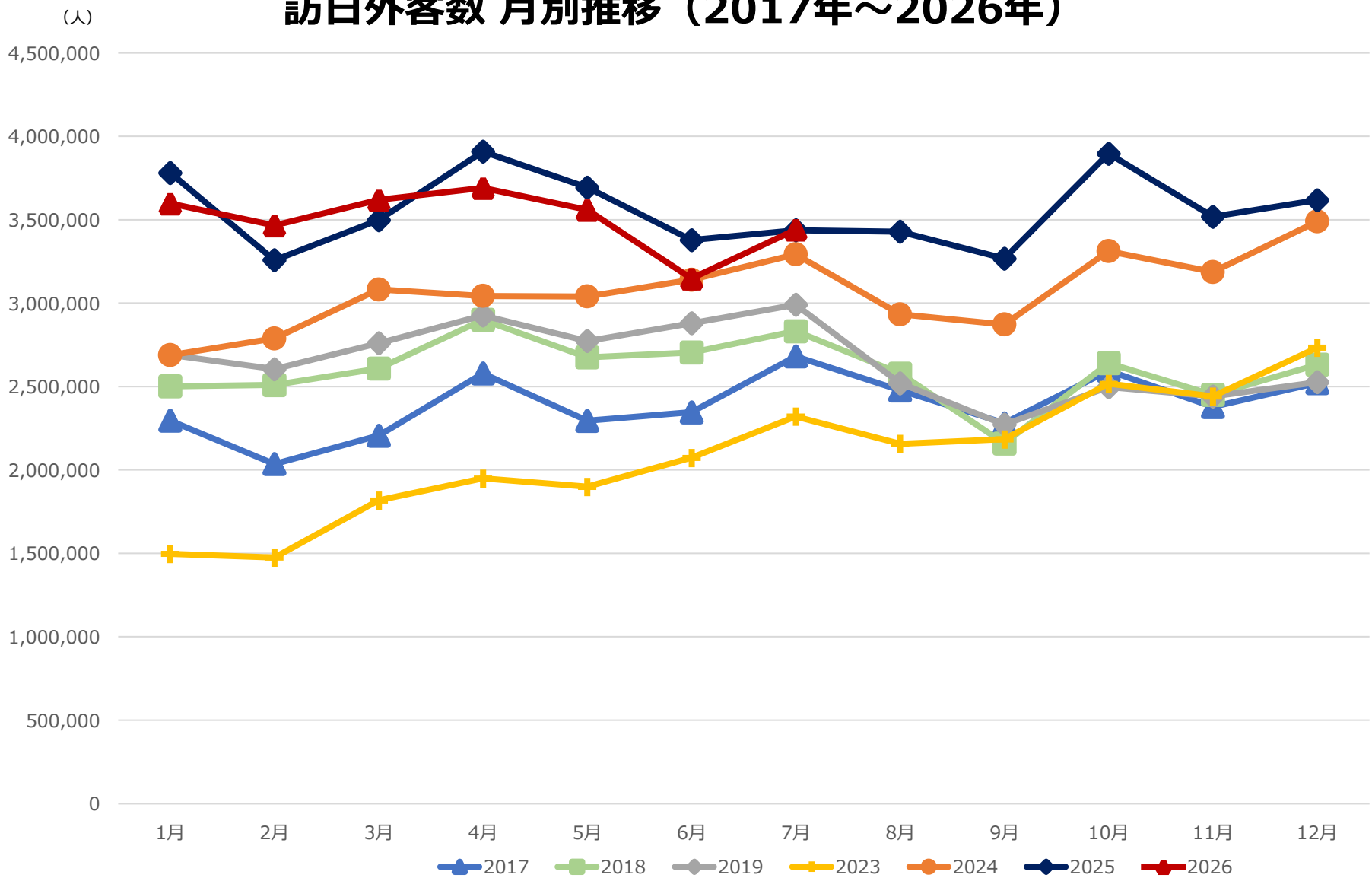
Visitor Arrivals for Jul. 2026 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2025)

国・地域	Country/Area	総数　Total			総数　Total		
		2025年 7月	2026年 7月	伸率（%）	2025年 1月～7月	2026年 1月～7月	伸率（%）
総数	Grand Total	3,437,118	3,442,100	0.1	24,955,693	24,527,200	−1.7
韓国	South Korea	678,566	894,700	31.9	5,462,164	6,569,800	20.3
中国	China	974,564	428,200	−56.1	5,693,104	2,486,500	−56.3
台湾	Taiwan	604,177	763,800	26.4	3,888,976	4,736,000	21.8
香港	Hong Kong	176,019	272,500	54.8	1,447,075	1,571,000	8.6
タイ	Thailand	48,553	53,800	10.8	729,022	758,300	4.0
シンガポール	Singapore	24,304	28,800	18.5	369,460	407,400	10.3
マレーシア	Malaysia	18,112	23,800	31.4	342,073	395,100	15.5
インドネシア	Indonesia	37,612	39,000	3.7	373,589	418,700	12.1
フィリピン	Philippines	47,366	45,100	−4.8	495,481	519,500	4.8
ベトナム	Vietnam	53,538	52,100	−2.7	418,176	448,700	7.3
インド	India	18,297	20,300	10.9	189,423	230,600	21.7
豪州	Australia	50,174	49,800	−0.7	617,418	643,100	4.2
米国	U.S.A.	277,080	286,200	3.3	1,978,507	2,107,900	6.5
カナダ	Canada	52,087	56,000	7.5	387,489	419,000	8.1
メキシコ	Mexico	19,778	23,100	16.8	104,621	132,700	26.8
英国	United Kingdom	37,098	41,500	11.9	308,140	328,200	6.5
フランス	France	46,196	50,700	9.7	255,927	278,000	8.6
ドイツ	Germany	28,087	29,800	6.1	230,899	247,900	7.4
イタリア	Italy	21,833	25,300	15.9	157,850	160,500	1.7
スペイン	Spain	24,056	27,900	16.0	122,317	134,000	9.6
ロシア	Russia	11,266	13,000	15.4	94,957	117,500	23.7
北欧地域	Nordic Countries	19,099	20,400	6.8	113,520	129,700	14.3
中東地域	Middle East	19,993	28,200	41.0	135,783	156,400	15.2
その他	Others	149,263	168,100	12.6	1,039,722	1,130,700	8.8

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。
◆注2：上記の2025年の数値は確定値、2026年の数値は推計値である。
◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。
訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに寄港地上陸、通過上陸、船舶観光上陸の外国人を加えたものを指す。
駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。
◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。
◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.
◆Note 2. Above figures for 2025 are definitive, while figures for 2026 are the preliminary ones estimated by JNTO.
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for Landing at a Port of Call, Landing in Transit and Cruise Ship Tourists Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.
◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.
◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2026年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注）訪日外客数は 2026 年 7 月の数値、これ以外の情報は JNTO で把握している最新の情報（2026 年 8 月 13 日時点）としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で 2026 年 7 月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

注）多くの市場において円安傾向が継続している。

注）欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。

1.アジア

① 東アジア

- **韓国**は、894,700 人（前年同月比 31.9%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、今年から追加された祝日による 3 連休、スクールホリデーや航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **中国**は、428,200 人（前年同月比 56.1%減）であった。中国政府より日本への渡航を避けるよう注意喚起があった。スクールホリデーの影響等はあるものの、航空便の減便の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- **台湾**は、763,800 人（前年同月比 26.4%増）であった。台風による航空便への影響等はあったものの、継続する訪日旅行人気に加え、スクールホリデーや航空座席数の増加、クルーズ船の寄港の影響等もあり、訪日外客数は単月として最高を記録した。

- **香港**は、272,500 人（前年同月比 54.8%増）であった。前年は日本で地震が発生するという情報が SNS 等で拡散されていた。台風による航空便への影響等はあったものの、スクールホリデーや航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

② 東南アジア

- **タイ**は、53,800 人（前年同月比 10.8%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、航空便の減便や訪中旅行の継続的な人気の影響等はあるものの、連休に合わせた訪日需要の高まり等もあり訪日外客数は前年同月を上回った。

- **シンガポール**は、28,800 人（前年同月比 18.5%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **マレーシア**は、23,800 人（前年同月比 31.4%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、訪中旅行の継続的な人気の影響等があるものの、継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **インドネシア**は、39,000 人（前年同月比 3.7%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、航空便の一部で運休があったものの、スクールホリデーや継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **フィリピン**は、45,100 人（前年同月比 4.8%減）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、航空便数の減少の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- **ベトナム**は、52,100 人（前年同月比 2.7%減）※であった。スクールホリデーやハノイ～静岡間の新規就航（2026 年 4 月）の影響等はあるものの、航空便の減便や訪中旅行の継続的な人気の影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

  - 留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- **インド**は、20,300 人（前年同月比 10.9%増）であった。夏場は訪日需要が落ち着く時期であるなか、デリー～成田間での新規就航（2026 年 1 月）、ムンバイ～羽田間での新規就航（2026 年 6 月）、デリー～羽田間、ムンバイ～成田間の増便の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

２．豪州、北米

- **豪州**は、49,800 人（前年同月比 0.7%減）であった。継続する訪日旅行人気の影響等があるものの、一部の州において昨年は 7 月上旬からであったスクールホリデーが今年は 6 月下旬からとなった影響等もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

- **米国**は、286,200 人（前年同月比 3.3%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **カナダ**は、56,000 人（前年同月比 7.5%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーや航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **メキシコ**は、23,100 人（前年同月比 16.8%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

３．欧州

- **英国**は、41,500 人（前年同月比 11.9%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーや経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **フランス**は、50,700 人（前年同月比 9.7%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーや祝日の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **ドイツ**は、29,800 人（前年同月比 6.1%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、多くの州で 7 月上旬から始まったスクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **イタリア**は、25,300 人（前年同月比 15.9%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーやバカンスシーズンの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **スペイン**は、27,900 人（前年同月比 16.0%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、スクールホリデーやバカンスシーズンの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

- **ロシア**は、13,000 人（前年同月比 15.4%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、スクールホリデーに加え、経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

４．北欧地域

- **北欧地域**は、20,400 人（前年同月比 6.8%増）であった。訪日旅行に関する現地での報道の増加に加え、スクールホリデーや航空座席数の増加の影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。

５．中東地域

- **中東地域**は、28,200 人（前年同月比 41.0%増）であった。継続する訪日旅行人気の影響等に加え、一部路線における航空便の再開や増便、スクールホリデーの影響等もあり、訪日外客数は 7 月として過去最高を記録した。